

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0503001

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	2 国民健康保険事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	特定健診・特定保健指導事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	特定健診受診率・特定保健指導実施率・内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率		#N/A	
事業目標	平成24年度までに特定健診受診率を65%、特定保健指導実施率を45%、減少率10%	ハート/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	⇒	高齢者の医療の確保に関する法律
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	○雄武町国民健康保険加入被保険者の40歳から74歳までを対象とし、生活習慣病に関する健康診査(特定健診)及び健康診査結果による保健指導(特定保健指導)の実施。	・特定健診の実施。 ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。	・特定健診の実施。 ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。	・特定健診の実施。 ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。	・特定健診の実施。 ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。	・特定健診の実施。 ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。	
	事業費(千円)	24,163	5,970	4,884	5,372	3,974	3,963
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	2,322	1,193	243	267	293	326
	道支出金	2,322	1,193	243	267	293	326
	地方債	0					
	その他	2,680		805	885	400	590
一般財源	16,839	3,584	3,593	3,953	2,988	2,721	
実績事業費	事業費(千円)	15,664	3,930	3,602	2,680	2,509	2,943
	財源内訳						
	国庫支出金	2,696	596	243	527	482	848
	道支出金	2,696	596	243	527	482	848
	地方債	0					
その他	2,431	686	538	507	471	229	
一般財源	7,841	2,052	2,578	1,119	1,074	1,018	
関連事項	(特定財源の詳細等) ・特定健診等国庫負担金 ・特定健診等道負担金 ・受診者負担金	【評価・実績】	(実施内容等) ・特定健診の実施(健診率33%) ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。 ※前年度評価結果	(実施内容等) ・特定健診の実施(健診率35.2%) ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。 ※前年度評価結果 A—継続/拡充	(実施内容等) ・特定健診の実施(健診率34.8%) ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。 ※前年度評価結果 B—継続/拡充	(実施内容等) ・特定健診の実施(健診率33.2%) ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。 ※前年度評価結果 B—継続/拡充	(実施内容等) ・特定健診の実施(健診率29.4%) ・健診結果等に基づき保健指導対象者の選定、階層化。 ・対象者への保健指導。 ・健診、保健指導の結果に基づき評価の実施。 ※前年度評価結果 B—継続/現状維持
	第4期総合計画関連(継続無し)	年度目標値	健診受診率の増	健診受診率の増	健診受診率の増	健診受診率の増	健診受診率の増
		年度達成率	66%	74%	50%	63%	74%
		全体達成率	16%	31%	42%	53%	65%
		事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

事業名	特定健診・特定保健指導事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	安井雅憲

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町国民健康保険被保険者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率								
【抱える課題やニーズは】	特定健診受診率、特定保健指導実施率向上対策が必要	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少	① 平成24年度における国で定めた率への到達 ・健診受診率 65%	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度(検診)</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>65%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>29.4%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>45.2%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度(検診)	目標値	65%	実績値	29.4%	達成度	45.2%
目標年度	平成24年度(検診)										
目標値	65%										
実績値	29.4%										
達成度	45.2%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	重症化予防と医療費抑制	② 平成24年度における国で定めた率への到達 ・指導実施率 45%	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度(指導)</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>45%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>55.6%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>123.6%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度(指導)	目標値	45%	実績値	55.6%	達成度	123.6%
目標年度	平成24年度(指導)										
目標値	45%										
実績値	55.6%										
達成度	123.6%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①町広報及び新聞折込みチラシ等による周知	年間予定表等の詳細が掲載されたチラシを5月町広報に折り込みするほか、健診実施の受付開始時期に合わせ、広報及び新聞にてチラシ折り込みを実施した。また、町内の各医療機関等においてポスター掲示により周知を図った。									
	②受診券発行	特定健診対象者に対し、健診の日程・自己負担額等の詳細が記載された受診券の一斉交付を行った。また、関心を高めるため、年2回の受診券交付を行った。									
	③健診・保健指導の実施	年4回(7日)の集団健診及び個別健診を実施した。健診結果から支援が必要となる受診者に対し、6ヶ月を基準期間とした保健指導を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき本事業の実施が義務化されており、町民の健康管理のみならず、医療費適正化事業の根幹として継続的实施が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	国の参酌標準に基づき目標値の設定をしており、結果として目標を下回る状況となっている。しかし、一定以上の受診率は確保されており、町民(被保険者)の健康維持・増進及び将来的な医療費抑制のためには、継続的な事業展開が必要である。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	集団健診を実施することにより、広く町民(被保険者)への受診のきっかけづくりができており、事業効率化に繋がっている。	
	<input type="checkbox"/>		事業費抑制
	<input type="checkbox"/>		人員削減
	<input type="checkbox"/>		時間短縮・作業軽減
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	健康診査を受ける際は、料金の一部を本人負担としている。(負担金徴収)	
	<input checked="" type="checkbox"/>		受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>		受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>		受益が一部に偏る
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
特定保健指導は目標を上回ることができた。特定健診では新規受診者の取込みが依然として向上せず、目標値に届かない結果となったが、一定の受診率を得ることができた。		

今後の展開方向(Action)

継続/拡充	継続/拡充	
町民(被保険者)が関心を持つようなアプローチをし、特に壮年期新規対象者の受診率向上を図る必要がある。また、昨年度は実施日の悪天候による顕著な受診率低下があったため、実施日の検討も行う。		
※展開方向の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		